

荻窪だより

令和4年7月4日
都立荻窪高等学校発行

まなびの森保育園との交流教育！（保育体験？）

令和4年6月17日、22日、23日の3日間にわたり、本校近隣地域にある「まなびの森保育園」様と本校の生徒たちが交流教育（保育体験？）を行いました。授業の一環で行われるため、目的は「乳幼児の発達段階・・・」ということで、あまり難しいことはここでは割愛させていただき、生徒が楽しく交流した紹介をいたします。

いきなり園児さんと会って「交流してください。」といっても難しいので、最初に保育園に行き、様子を拝見することになりました。机といすがミニサイズ・入口に小さな靴が置いてあり、と普段の生活では考えられない可愛いグッズに生徒たちも楽しんでいました。その後、園長先生からミニブックの作り方を学んだところ「園児よりもすぐに覚えてくれるので教えるのが楽だわ」と言われました。当然と言えば当然ですが、考えてみると改めて自分たちが成長したことを感じさせてくれました。

事前準備



園児と会う時に着用する
手製の名札



ミニブックの作り方を
教えてくれる園長先生

今度は園児さんを本校に招待し、学校の武道場で交流会をしました。園児さんが自己紹介をするたびに女子生徒から「かわいい♡」と声援があがり、いつになく生徒も楽しそうにしています。交流ゲームは背中に付けたひもを取り合うチーム戦です。生徒 VS 園児さんでは1対2で園児さんの勝利！。喜ぶ園児さんを横目に生徒たちもうれしそうにしていました。

3日目は本格的に保育園での保育活動です。2歳児さんと3歳児さんの活動では、様子が全く違い、一年でこんなに成長するのかと驚かされました。そして、日頃の授業では生徒ですが、この場はある意味先生役です。「先生の大変さもわかったかな♪」色々な刺激を園児さんからもらい、自分がお兄さん、お姉さん役をすることで、人の役に立つことができた経験は大変貴重です。

かわいい園児さんから多くのことを学ばせていただき、ありがとうございました。

ました。



しっぽ取ゲームの様子



折り紙を折りました